

議事録名：潤生園 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 平成 29 年 4 月度 介護・医療連携推進会議			
日 時	平成 29 年 4 月 15 日（土） 13:00～14:30	議事録	4 月 15 日 書記：J
場 所	潤生園 みんなの家ほたるだ		
出席者	<input type="checkbox"/> A 様 地域の代表 民生委員児童委員協議会 東富水地区副会長 <input type="checkbox"/> B 様 利用者の家族 <input type="checkbox"/> C 様 地域包括支援センター 地域包括支援センターひがしとみず <input type="checkbox"/> D 様 地域の医療関係者 潤生園訪問看護ステーション <input type="checkbox"/> E 様 ケアマネジャー 鴨宮ケアセンター <input type="checkbox"/> F 様 ケアマネジャー オギクボ薬局介護支援センター <input type="checkbox"/> I 事業者 潤生園訪問サービスセンター 管理者 <input type="checkbox"/> J 事業者 潤生園訪問サービスセンター 計画作成担当者 <div style="text-align: right;"><input type="checkbox"/> 出席</div>		
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席者名簿</li> <li>・平成 28 年度定期巡回随時対応型訪問介護看護 稼働実績</li> <li>・緊急コール一覧表</li> </ul> <div style="text-align: right;">以上、事前配付・当日配付</div>		
議題及び議事内容		議決事項	
1. 開会挨拶 管理者より開会挨拶を行う。 2. 出席者紹介 出席者の紹介を行う。 3. 実績等、状況報告 <b>【3 月】</b> 利用者数 23 名（新規 7 件 終結 4 件） 訪問看護利用者 医療保険での利用も含め 9 件 ▼終結者の理由 <A 様> 退院直後から 1 か月利用 自立に向かっているため指定訪問介護（週 2 回掃除）と夜間へ移行 <B 様> 入院され退院の目途立たず一旦終結 <C 様> 退院後一旦ショート利用し在宅復帰 自立され終結  <b>【4 月】</b> ヘルパー人数増減なし 新規利用者の受け入れが難しくなってくる 新規 7 件 （開始 4 件 開始予定 1 件 相談中 2 件）			

<D 様> 東富水地区 ご主人と 2 人暮らし 2 人とも認知症あり

1 日 1 回朝食後薬の服薬確認で訪問。ご夫妻で利用され、急な転居で小田原へ来られるが、生活困窮しており土地勘もない状態。浴室が利用できない状況で、暮らしのデザイン室で改修依頼。

サービス内容や入り込みについては検討中。

▼緊急コール一覧

日中夜間を合わせてどんな内容でコールがあるかの一覧

▼生活困窮者に対する支援 (D 様について)

行政に相談し生活保護申請済み

A 様：市ではなく県社協で一時的な対応として現物給付をしている。県で一時的金として現金給付（目的がはっきりしている家賃など）あると聞いた。ケアマネだけでなく包括も巻き込んで連携していく必要がある。

F 様：市社協に相談して車椅子貸与を受けた人もいる

4. 質疑応答など

B 様：父と母の老老介護 長女次女は別居

長女様は姑の介護も担っている

就労されており、買い物や銀行に付き添うので精いっぱい  
とっても助かっています コール対応がとてもありがたい

D 様：定期巡回利用者のアセスメントを 1 か月に 1 回実施

何かあったときに来てくれるので助かるとの声を聞く

状態が落ち着いている人は良いが、医療的な部分の負担が多くなったときに、計画作成責任者が臨機応変に対応していくことが求められる

→ I：医療依存度の高い方、退院後の利用者が増加している中で、医療との連携がすぐにできる環境はありがたい

F 様：臨機応変な対応がありがたい。なぜ小田原市で潤生園だけのサービスなのか？

→ I：小田原市の公募の問題

全国的には広がってきているが小田原市ではまだ浸透していない  
他の訪問介護事業所への業務委託についても現在検討している

E 様：ちょっとした見守り（火の管理、室温管理など）の指定訪問看護では算定ができない部分での対応がありがたい

C様：要介護でないと対応が出来ないのが残念  
要支援の方でも服薬管理に困難を感じている方が多い  
軽度な方こそ利用できると便利なサービス  
限られた人財の中で地域の利用者を見ていく体制づくりをしていく  
必要がある。

ケアマネ、包括、訪問介護など垣根なく連携していくことが必要。  
ケアプラン適正指導を行っているが、自法人内でなんとかしようとする  
ケアマネが多い…ケアマネに対し定期巡回の具体的な事例を交えた  
研修をしてもいいのではないか思う。

→D様：訪問看護との連携についても理解が不完全なケアマネが多い

B様：サービスを受けるべきなのに受けられていない人が地域にはまだ多く  
いる。支援を受けられていない人をサービスに繋げる取り組みをして  
欲しい。

→A様：そうゆう声があったら民生委員に声をかけてくれれば、包括に繋げて  
いく。独居や老々の世帯は訪問しているが、介護者がいるお宅には訪  
問していないので、そのような情報があるとありがたい。

→C様

：ケアマネだけでなく市民向けにもサービスの紹介をしたほうがよいのではない  
か。行政ではなく 1 事業所が専門職としての情報を発信するのは良い  
ことだと思う。

## 5. 閉会の挨拶

管理者より閉会の挨拶を行う。

・次回開催予定：平成 29 年 6 月 17 日（土） 13：30～  
潤生園 みんなの家ほたるだ